

令和2年度 第1回北秋田市総合教育会議 会議録

1. 開催期日 令和2年5月27日(水)
2. 開催場所 北秋田市役所第二庁舎 第三会議室
3. 開会及び閉会 開会：午後1時30分 閉会：午後3時01分
4. 出席者 北秋田市長 津谷 永光
＜北秋田市教育委員会＞
教育長 佐藤 昭洋
委員 佐藤 正俊
委員 佐藤 英樹
委員 蒔苗 隆
委員 藤本 基子
5. 欠席委員 なし
6. 出席職員 ＜教育委員会事務局＞
教育次長 小笠原 吉明
総務課長 金田 浩樹
学校教育課長 小林 秀雄
生涯学習課長 長岐 孝生
スポーツ振興課長 藤野 義則
総務課総務係長(書記) 三澤 照美
7. 案件 (1) 令和2年度主な教育施策について
(2) 意見交換

8. 会議録

小笠原教育次長	ただいまから、令和2年度第1回北秋田市総合教育会議を開催いたします。 はじめに、津谷市長から御挨拶をお願いいたします。
津谷市長	<p>皆様お疲れ様でございます。本日は、お足元の悪い中、大変お忙しい中にもかかわらずお集りいただきましてありがとうございます。</p> <p>令和2年度の第1回北秋田市総合教育会議を開催いたしますが、教育委員の皆様には、日頃から当市の教育行政の発展に御尽力いただいておりますことに心から感謝申し上げます。</p> <p>さて、国難とも言うべき新型コロナウイルス感染症につきましては、このウイルスが発見され、そしてクルーズ船の問題が出てから、秋田県内でも感染者が出たという状況から、北秋田市といたしましても、非常に緊張感を持続しながら今日までやってまいりました。緊急事態宣言が解除されても、なお引き続き、目に見えないウイルスが相手でありますので、第2波・第3波に備えて、日常生活における私たち一人一人の予防対策が重要になってまいります。</p> <p>また、若干落ち着いてアフターコロナの地域社会を見据えて、経済的に打撃を受けている個人や企業等に対する支援策も重要であります。</p> <p>北秋田市におきましても、新型コロナウイルス感染症緊急経済対策室を設置し、特別定額給付金事業と併せて「事業継続支援金」「緊急子育てサポート給付金」「学生生活支援臨時給付金」の市独自の三つの緊急経済対策を打ち出しております。</p> <p>また、長期にわたりマスクの着用が予想されることから、先般、小・中学校の子どもたちに洗えるマスクを配布させていただきました。</p> <p>今年度予定されていた事業においても、チャレンジデーをはじめ、4月、5月に予定されていた事業が中止又は延期となりまして、世界文化遺産登録を目指している「北海道・北東北の縄文遺跡群」のイコモスによる調査も、予定どおり実施されるか大変心配なところであり、多くの事業に影響を及ぼしております。</p> <p>本日の会議は、今年度の主要な教育施策が議題の中心となりますが、今年度は様々な制約がある中で、英知を結集し取り組む必要があると思っています。今できること、今やるべきことを確実に進めていくために、教育委員の皆様から貴重な御意見を賜りますようお願い申し上げます。私からの御挨拶とさせていただきます。本日はよろしくをお願いいたします。</p>
小笠原教育次長	ありがとうございました。 続きまして、佐藤教育長から御挨拶をお願いします。

佐藤教育長	<p>皆様、こんにちは。</p> <p>新型コロナウイルス感染症が世界中で拡大している現状は、私たちがこれまで経験したことのない大変な状況であると感じています。教育委員会が所管する施設の利用を制限し、様々な行事や予定が休止や延期とせざるを得なかった現状から、予定どおり行われてきたこれまでの状況や、普段どおりの生活ができることの有り難さを改めて感じています。</p> <p>国から緊急事態宣言が出され、県知事からの要請による4月22日から5月6日までの小・中学校臨時休業を乗り切り、ようやく5月7日から、感染症対策を万全にした上で学校を再開させました。学校では子どもたちに、うがい、手洗い、マスクの着用などを指導し、家庭には登校前の検温をお願いしています。また学校では、それぞれの学校規模や状況に応じ3密を避けるために、人数の多い学年では教室を広い教室に変えたり、時間割を変更して学級を2つに分けるなど、工夫した対策を講じてきました。運動会や体育大会については、7小学校3中学校で終了しましたが、例年のプログラムを縮小しての午前開催、学校の規模に応じて平日開催や分散開催に変更するなどして実施しております。新型コロナウイルスという目に見えない敵を相手に、困難な状況が続いていますが、まずは子どもたちが学校に戻ってきたことが、何よりの喜びだと感じています。5月20日には、市から全ての子どもたちに一人4枚の布製マスクが贈られ、地域の方々からも手作りマスクなどが贈られた学校もあります。子どもたちが地域の方々からとても大切にされていることを強く受け止めながら、今後も安全・安心な生活が送られるように、皆様と心をつなげて取り組んでまいりたいと思います。</p> <p>さて、そのような状況の中、今年度は、本市の学校教育、生涯教育、生涯スポーツが大きく羽ばたく年であると捉えています。それは、全ての小・中学校で、学校運営協議会が設立され、スタートする年であるからです。地域と学校が協働して活動する仕組みが出来ることで、子どもたちは地域の方々から様々なことを学び将来の自分を形成していく、地域の方々とは子どもたちと触れ合い、その「知恵」や「思い」を伝えることで地域の将来を子どもたちに託す、そのような双方向の関係が出来上がっていくと考えています。そのような学校の取組を応援するために2年間かけて完成させた郷土資料集「きらり☆きたあきた」を大いに活用して、ふるさと教育、キャリア教育を進めてくれることを望んでおります。</p> <p>この地域をこよなく愛し、この地域で暮らす皆さんが、笑顔一杯でより充実した生活を送られるよう、教育委員会としても様々な挑戦をしていきたいと考えております。</p> <p>本日の総合教育会議では、教育委員会の今年度の主な教育施策について、事務局からの提案がありますが、委員の皆様からも忌憚のない御意見を頂けますようお願いし、私の挨拶とさせていただきます。</p>
-------	--

小笠原教育次長	<p>ありがとうございました。</p> <p>それでは、早速ですけれども案件に入らせていただきます。本日は、令和2年度主な教育施策についてと意見交換になっております。意見交換では、新型コロナウイルス感染症対策についてもお話ししていただければと思っております。進行については、北秋田市総合教育会議運営要綱の第3条により議長は市長が行うこととなっておりますので、津谷市長に案件の進行をお願いいたします。津谷市長よろしくをお願いいたします。</p>
津谷市長	<p>それでは、要綱に従いまして、議長を務めさせていただきますので御協力をお願いいたします。それでは、案件（1）令和2年度主な教育施策について各課から説明をお願いします。</p> <p>はじめに、学校教育関係について、総務課と学校教育課から説明をお願いします。</p>
金田総務課長	<p>はじめに、総務課から御説明いたします。</p> <p>1. 学校統合に伴う学校校舎大規模改造工事関係について</p> <p>令和3年4月の鷹巣中央小学校、鷹巣南小学校の統合に伴い、旧鷹巣南中学校を改造するものです。当該校舎は昭和61年建築で33年経過しており、屋根や外壁の劣化などにより、全面的に塗装及び補修します。また、中学校校舎を小学校として使用するために、階段に手摺り・滑り止めを設置したり、保健室にシャワールームの設置、職員室・校長室を2階から1階へ移動し、普通教室にエアコンを設置します。トイレは洋式化を図り、みんなのトイレも新設します。体育館は、床の不陸調整・再塗装を行います。また、既存のプールは地盤沈下により傾いていることから、解体して新たなプールを設置します。工期は令和3年2月末を予定しています。</p> <p>2. 学校施設整備事業</p> <p>主なものとしては、エアコン設置事業です。今年度は、森吉、阿仁、合川3中学校の学級の教室に7月中旬までに設置していきます。また、エアコン未設置の小学校7校については、既存の電量容量の関係から電力不足が想定されますので、詳細な実施設計を行い来年の夏までに設置の予定です。鷹巣東小学校の屋根防水シート張替工事につきましては、昨年管理棟を実施し、今年度は体育館周辺を実施の予定です。昭和51年建築の阿仁合小学校は、窓枠の改修を予定しています。窓ガラスのゴムパッキンの劣化が激しい36か所のパッキンの取り替えを行います。</p> <p>3. あきたリフレッシュ学園と教育留学推進事業</p> <p>あきたリフレッシュ学園は、5月1日現在で市内中学生6名、市外小学生1名、市外中学生4名の計11名で今年度スタートしています。新型コロナウイルス感染症拡大防止対策での学校臨時休業に合わせて、あきたリフレッシュ学園も休園としましたが、5月7日から感染予防対策を取りながら再開</p>

金田総務課長	<p>しております。県教育委員会の委託事業であります教育留学推進事業は、県境を越えた移動を伴う事業であるため、4月1日から受入れを休止しております。再開については、県教育委員会と協議してまいります。なお、例年夏に実施しております短期チャレンジ留学Ⅰ期は、新型コロナウイルス感染症の関係から、状況の判断が付きにくいことや、全国の小・中学生の夏休みがどうなるのか分からないことなどから、夏休みは中止とします。冬に実施しているⅡ期は、実施を前提として進めていきますが、状況を見極めて判断していかねばならないと考えています。</p> <p>総務課は以上です。</p>
津谷市長	<p>学校教育課からお願いします。</p>
小林学校教育課長	<p>学校教育課からは三点についてです。</p> <p>1. 教員の働き方改革</p> <p>(1) 今年度から校務支援システムとリンクした出退勤システムが活用されています。このことにより、客観的な方法で教職員の勤務時間管理に取り組むことができ、管理職による日常的な時間外勤務の把握と、それに伴う職務内容の精選等に取り組めます。</p> <p>(2) 校務支援システムの積極的な活用により、教職員の校務を削減するという事です。校務支援システム自体は平成30年度から活用を始めていますが、当初は様々な基礎データの入力等が大変で、かえって仕事が増えたという声も上がっておりました。しかし、その後は既に入力済みのデータを用いながら、例えば通知表や生徒指導要録などの作成については、仕事量が減っているものと考えています。</p> <p>(3) 夏季休業中に全教職員に対してアンケート調査を行い、現行システムの改善点や教育委員会等の支援の在り方等について検討するという事です。活用し始めてから3年目になりますが、どんなところで改善ができるのか、どんなところで支援を必要としているのかということアンケート調査を行ってまとめた上で、支援の在り方を探っていきたいと考えています。目指すところは校務支援システムを使うことではなくて、使うことによって教職員の働き方改革を進めていくところですので、目的を見失わないようにしたいと考えています。</p> <p>2. 小・中学校の再編</p> <p>(1) 鷹巣中央小学校、鷹巣南小学校の統合については、令和3年度4月の統合に向けて統合校名の決定、校章、校歌等の策定などに取り組んでいきます。</p> <p>(2) 阿仁合小学校・大阿仁小学校・阿仁中学校については、昨年度末の段階で、小・中併設校又は義務教育学校とし、小学校2校・中学校をまとめて1校にする方向性がまとまり、地域の方々や保護者から賛同の声が上がりま</p>

小林学校教育課長	<p>した。これからは、具現化するための方策を総務課と共に検討していきます。</p> <p>(3) 前田小学校、米内沢小学校、森吉中学校については、これまで検討する中で、阿仁と森吉地区の学校を統合することも念頭にありましたが、旧阿仁地区で学校を一つにすることで方向性がまとまりましたので、旧森吉地区の学校をどうするのが課題として出てきました。学校や保護者、地域の方々から意見をお伺いしながら、現在の学校規模・配置のメリット・デメリットについて意見交換した上で、教育委員会で方向性を考えてまいります。</p> <p>3. 新学習指導要領の移行期間等への対応</p> <p>(1) 小学校は、今年4月から新学習指導要領が全面実施となりました。中学校は令和3年度に新学習指導要領の全面実施となります。改訂の趣旨や各教科の評価などの現行の学習指導要領からの変更点などを周知して、指導助言したいと思っています。</p> <p>(2) それに伴い、今年度は平成3年度から使用する中学校の教科用図書の採択の年になります。大館市、北秋田市、上小阿仁村が採択地区協議会となっていますので、協議を経て採択を進めていきます。</p> <p>(3) 小学校外国語については、今年度から外国語という教科になっており、小学校5・6年生が教科、3・4年生が外国語活動と位置付けられました。ただ、鷹巣南中学校が昨年度末で閉校となり、鷹巣中央小、鷹巣南小が統合となることによって、令和3年度からは小学校9校・中学校4校になります。現在ALTが7名おりますが、1名が今年の夏で帰国する予定になっています。8月以降は6名でこれまでと変わらず外国語、外国語活動を進めていくことにしていますので、そのための環境を整えていきたいと思っています。</p> <p>以上です。</p>
津谷市長	<p>ただいまの総務課と学校教育課の説明について、御意見や御質問をいただきたいと思いますので、よろしくお願いします。</p>
藤本委員	<p>今年度、夏休みが1週間短くなってしまふことで、中学校3校に7月中にクーラーが入るということですが、小学校については全部が令和3年度ですか。それとも容量が可能であれば、今年度付けてくださる所もあるのでしょうか。</p>
金田総務課長	<p>小学校につきましては、今年度全て調査させていただいて、工事は今年の夏には間に合いません。その後の工事ということに予定しております。</p>
佐藤正俊委員	<p>新鷹巣中学校が今年度からスタートしましたが、4月に入って間もなく鷹中に行く用事があって、見学をさせていただきました。全てを見たわけではあり</p>

佐藤正俊委員	<p>ませんが、明るくきれいになったと感想をもちました。その後、鷹中・南中の子どもたちが、どのようにして新しい歴史を刻みつつあるのか知りたいと思います。私が誇りに思っているのは、鷹巣中学校は秋田県内にない全天候型陸上競技場を自分たちのグラウンドとして自由に使用できることです。そういう恵まれた環境の中にいることを感じて、大事にしてほしい学校だと思っています。今後、生徒たちが過ごしていく上で、その都度先生方からも恵まれているということを感じさせてほしい。そして、自分たちが守っていくのだと教えてほしいと思います。</p>
小林学校教育課長	<p>統合の際に、教育委員会事務局サイドも保護者も心配したのは、通学についてでした。中央小学校区の子どもたちが自転車で通うことについて、3月の段階で旧鷹巣南中学校、鷹巣中学校、教育委員会合同で指導しています。自転車指導もして、心配していたことが何事もなく通学ができてよかったと感じています。校内の生活ですが、始まって2週間と2日でコロナウイルスの影響で臨時休業となり、そこも心配しましたが、5月7日に始まってから生徒たちは楽しく学校生活を送っているように思います。校舎についても、普通教室棟の教室数が増えました。学級編制については県有加配を受けて、通常の学級数よりも各学年1学級ずつ増えて、その状況の中で学校生活を送っています。鷹中・南中の子どもたちが一緒にいることについても、心配なく馴染んで学校生活を送っているようです。</p>
佐藤正俊委員	<p>ありがとうございました。旧鷹巣南中学校ですが、工事は始まりましたか。</p>
金田総務課長	<p>現在は、放課後児童クラブ設置を予定している竜森寮の解体工事が進んでいます。校舎の工事は6月議会後になります。</p>
佐藤正俊委員	<p>今後工事が進むであろうことを想像してお話すると、小学生に向けた校舎の改築は難しいと思いますが、一部段差のある教室がありました。どのようになりますか。小学生にとって大きな段差は、危険の伴う教室になってしまうのではと感じます。</p>
金田総務課長	<p>教室の床面は張り替えをして、3階教室の段差についてはある程度解消させる予定です。2階旧校長室の隣の部屋については、改修には予定されていません。</p>
佐藤正俊委員	<p>もう設計はできあがっていると思いますが、小学生用にしっかり見て、確認しながら進めてほしいと感じています。</p>
金田総務課長	<p>はい。</p>

津谷市長	大事なことです。
佐藤英樹委員	<p>二点お願いします。先程、藤本委員からエアコンについて質問がありましたが、全国的に見ても北海道・東北は涼しいこともあって設置率が極めて低いわけです。今年は夏休みも短縮されて、暑いところで勉強することになると思いますが、コロナ対策の支援策として、学校の教室全部でなくても涼しい環境を作って、子どもたちが勉強できるようにしてもらいたいと考えています。</p> <p>コロナの関係で授業時数の確保は、先生たちも悩んでカリキュラム編成を考えているのかと思いますが、高校では週休二日制が導入された時には、週2回7時間授業や、土曜日授業などで対応しましたけれども、小・中学校での対応策を考えていたらお知らせください。</p>
金田総務課長	<p>最初のエアコンの設置ですが、中学校については現在発注しておりますので、少しでも早く稼働できるように工事を進めていきたいと思っております。小学校については、ほとんどの小学校で電気のキュービクルの容量を大きくしなければならぬと試算されています。夏休みの短縮で不便をおかけする部分もありますが、来年の夏までにと御理解をいただければと思います。</p>
小林学校教育課長	<p>授業時数についてお話しさせていただきます。毎年各校で教育課程を組む際に、だいたい今年度だと202日から203日くらいが授業日数です。ちなみに令和元年度は天皇陛下即位の関係で、授業日数を組むのに苦労した年でした。今年はコロナを抜きにすると通常どおりの日数です。臨時休業が本市は4月22日から5月6日まであり、すごく減ったような印象を受けますが、ゴールデンウィークを挟んでいますので、授業ができなくなった日数は7日間だけでした。先日、保護者の方々にも校長を通して通知しましたが、今年の夏休みについては短縮をして、7月で5日間、8月で2日間短くして、7日間の短縮に対して7日間を保障しています。ほかに、学校の行事等を行う際に、例えば運動会や体育祭の準備のために特別活動を多く取ったり、全国学力学習状況調査が中止になった分など、実は授業日数としては多くなるのかもしれないと思っています。ただ、学校は日数だけで進むわけではありませんので、4月の学校生活の基盤を作るような時期に休みになってしまい、日数だけでは計り知れない部分があると思います。それを今、各校で一生懸命子どもたちに対して指導しながら、早く日常の学校生活にできるように努力をしてもらっています。</p> <p>エアコンに関してですが、小学校は残念ながら今年は付かないということで、7月の下旬を授業日にすることによって、暑い中での授業をやらなければならないという声が校長会で挙がりました。今年の気温等にもよりますが、幸い温湿度計を昨年度全部の学校に配付していますので、教室の温度や湿度を管理して、必要に応じて、例えば午前中だけ授業をして給食を食べて午後は帰すというようなことも考えていきたいと思っています。</p>

津谷市長	ほかにございますか。
蒔苗委員	教職員の働き方改革についてお尋ねします。システムが導入されて、これに伴って管理職の負担が今より更に増えるのではないかと思います。対策などはあるのでしょうか。
小林学校教育課長	結論からお話ししますと、管理職の負担はかなり減ると思います。昨年までは出勤時間や退勤時間を一人一人の先生方が計算ソフトに手で入力していました。管理職がそれをまとめて、どのような時間外勤務が行われているのかをひと月ごとに教育委員会に報告していました。職員の多い学校ではまとめる作業が大変で、校長、教頭の負担になっていましたが、今年入れた出退勤システムは、自分のカードをかざすだけで打刻したデータがシステムに飛んで、自動的に出るようなシステムです。管理職はそれを見て、時間外が多い時などには適宜声を掛けるようにしてほしいと思っています。
蒔苗委員	まとめるのは確かに省略されると思いますが、声掛けはその都度やらなければならないとなると、それが多くなるのではないかと思います。
小林学校教育課長	そのとおりだとは思いますが、ただ、校長、教頭は管理職ですので、自分の学校がどのような状況であるかを見ていくことが職務です。客観的なデータがあれば声掛けもしやすくなりますので、そこはやりながら考えていきたいと思っています。
佐藤教育長	課長から時間の管理について話がありましたが、行政職であれば時間外勤務を命ずる訳ですが、学校の先生方は時間外手当が出ませんので、事前に残ることは分かりません。従って、課長が話したような管理をしていくしかないということが一つのポイントです。管理職には楽をしてもらいたいと思い、教育委員会でも相談し、北秋田市ではいち早く学校閉庁日を設けていますので、そういうところが校長や教頭の励みになってくれればと感じているところです。
津谷市長	それでは、各委員から貴重な御意見をいただき、ありがとうございました。十分に参考にしながら事業を進めていきますのでよろしくお願いします。続きまして、生涯学習課に移ります。生涯学習課長からお願いします。
長岐生涯学習課長	生涯学習課の主要な施策を説明させていただきます。 1. 生涯学習事業の推進について 公民館講座は、市民の生きがいや学習の機会を提供することが大切であることから、コムコムを含む各公民館が市民のニーズを聞くなど意見を取り込んでいます。そのほか、地域課題の解決になるような講座や地域に還元でき

るものなどを提供しています。参加人数が少なかったり、特定の人の受講に留まったりするものもありますが、内容を工夫するなど解消されつつあると感じています。今年は35講座を開催する予定で5月18日から募集を開始しています。

高齢者大学は、高齢者の学びと生きがいに繋がっているもので、正に生涯学習の本質であると思っています。合川・森吉・阿仁は全体での活動になっていますが、鷹巣においては、13のクラブに分かれて自ら学び体験する活動が主です。又、合同研修やその成果を発表する場も設けています。今年は355人の大学生が入学しておりますが、入学式・開講式などが中止となっており、新型コロナウイルス感染症の状況を見ながら進めていくこととなります。

生涯学習事業ですが、生涯学習フェスタは公民館講座や地元の高校生の活動の成果などを発表する場となっています。また、冬の笑楽校は小学生を対象に、学校では学ぶことのできない授業を体験してもらうため、地域の企業などの協力を得て開催しています。

2. 次代を担う子どもの未来につながる事業について

学校・家庭・地域連携事業は、学校運営協議会が市内14校全てに設置され、地域学校協働推進員30名が学校と地域をつなぎ、お互いが考えを出し合うことで学校も地域も元気になっていくことを期待しています。放課後子ども教室は、放課後や週末の子どもの居場所、豊かな人間性を育むために地域の大人が参画し体験交流をすることで、地域コミュニティーが図られるものです。児童クラブ単位で行われ、24名の指導員がおりますが、地域によって偏りがあり公民館と連携して実施しているところです。家庭教育支援チームは、これまで地域のイベントなどに出向いて、子育て相談会を行ってききましたが、今年度はおもちゃ作りや昔遊びなど、交流しながら気軽に話ができる雰囲気の中で子育てについて話し合うことにしています。チーム員は8名です。

放課後児童クラブは、放課後の児童の安全・安心な居場所として10施設15クラスで、597名の児童が登録されています。社会福祉協議会に鷹巣地区の5施設を委託し、合川・森吉・阿仁の5施設を直営で運営しています。支援員は合わせて63名です。今回の新型コロナウイルス感染症の拡大防止対策で、小学校の臨時休業時には臨時開所をして支援員の皆さんにがんばっていただき、感謝しているところです。また、鷹巣中央小・鷹巣南小の統合校の児童クラブの建設を、旧鷹巣南中学校敷地内にある旧竜森寮を解体し新築することにしておりますが、現在は解体工事が進められており6月30日の工期となっています。

国立市文化交流事業は、旧合川町から交流のあるまとび交流とマタギの地恵体験学習があります。子どもたちの交流を主体として実施しています。まとび交流は7月末日の開催を予定していましたが、国立市の実行委員会から

<p>長岐生涯学習課長</p>	<p>中止の連絡がありました。また、マタギの地恵体験は、7月31日から8月3日で実施の予定でしたが、第1回実行委員会で、このように新型コロナウイルス感染症が蔓延している状況であることから、今のところ冬休み開催の可能性を残して延期としており、最終判断を9月頃と考えています。</p> <p>3. 北秋田市民ふれあいプラザについて</p> <p>昨年12月2日に、開館から3年7か月で100万人を達成しており、その賑わいは継続されています。しかしながら、予約の時期や使用料金、設備の機能に問題があるなど、改善の余地があることから、引き続き利便の向上を図っていきます。</p> <p>子育て世代支援（ねまーる広場）は、自由来館により親子のスキンシップを図りながら、5名の保育士などによって子育ての悩みを聞いたりしています。市外の来場者も多く、子育て世代の一助となっています。また、コムコムでの研修など預かりが必要な方のための一時的預りもしています。</p> <p>チャレンジブースは2か所あり、起業前の助走期間として2年間を上限に貸し出しています。現在は英語教室と写真スタジオが営業していますが、写真スタジオの方は自宅に店舗を構える予定になっており、効果が出たものと考えています。</p> <p>4. 「北海道・北東北の縄文遺跡群」世界遺産登録の推進について</p> <p>今年度、ユネスコの諮問機関であるイコモスの現地調査を8月頃予定しておりましたが、新型コロナウイルスの関係で未だに動きが決まっていません。昨年国内推薦となった奄美大島・徳之島・沖縄北部及び西表島を審査する世界遺産会議が中国で開催される予定でしたが、中止が決定されていますので、今後の日程がどうなるのか見通しがたっていません。しかしながら、PRする必要があるため、ロゴマークを使用した事業として周遊マップやパンフレットを活用してPRしていきたいと考えています。</p> <p>5. 伊勢堂岱遺跡ジュニアボランティアガイド事業について</p> <p>総会、事前研修、ゴールデンウィークのガイドは子どもたちの安全を考慮して中止としています。現在、ジュニアボランティアの登録は36名です。状況にもよりますが、8月上旬の総会、事前研修を経て、秋の連休にガイド体験ができればよいと考えています。</p> <p>6. 浜辺の歌音楽館について</p> <p>現在、季節にちなんだ曲やジャンルをよるリスニング企画、それに合わせてその曲の楽譜を展示するなどの企画をPRしています。また、お土産としてクリアファイルや一筆箋などを販売しています。</p> <p>7. 市内の文化財等について</p> <p>これまで進まなかった指定文化財の確認作業を平成30年度から継続しており、昨年は国指定のマタギの狩猟用具293点をはじめ、市指定文化財の確認も行っています。今年度は、複数件あるものや持ち運びできるものを優先的に進めており、例えば、県指定の内館文庫跡では蔵書1,500点や古</p>
-----------------	---

長岐生涯学習課長	<p>文書1,500点などの確認作業を行っています。また、この中には市指定と重複しているものもあり、市指定の解除をする必要もあります。</p> <p>次に、未指定文化財の中で、指定すべきものの価値付け調査・研究が必要です。先の文化財保護審議会でも調査・研究を進めるよう意見が出されおり、その筆頭となる未指定文化財は、鎌沢の道標石の別名、口曲り地蔵となっています。そのほかにも五つの未指定文化財があり、価値付け調査を進めているところです。</p> <p>最後に、資料に記載はしていませんが御報告いたします。合川駅前公民館を解体し、その機能を合川公民館と統合させるための建て替えについては、現合川公民館が国庫補助金で建てられており、耐用年数が経過しておらず、財産処分の手続きが必要となっています。その回答が国から来ていない状況にあるため、市議会6月定例会への提案ができなくなったことから、次年度以降に事業が延期されることとなります。二つ目は成人式についてですが、8月の開催を断念し、1月開催に向けて準備を進めているところです。三つ目、日本遺産認定につきましては、5月末の発表に向けて文化庁が進めてきておりますが、未だに可否の発表がなく、審査の進捗も含めて動きがわからない状況です。今後、秋田県を通して情報の収集に努めたいと思っています。</p>
津谷市長	<p>ただいま説明のありました生涯学習課の事業につきまして、御意見や御質問はございませんか。</p>
藤本委員	<p>二点お願いします。放課後児童クラブですが、3月から職員の方々には本当に難儀だったと思います。5月7日以降息子がお世話になっておりますが、職員の方と話したところ、子どもたちが向かい合わないよう指導してくださったり、子どもたちが帰った後にブロック一つ一つを消毒していることも教えてくださいました。いろいろ配慮いただいていることで職員の方々のおかげで安心して利用できることに感謝しています。もう一点、浜辺の歌音楽館のグッズでオルゴールの予定もあると聞いていますがいかがですか。</p>
長岐生涯学習課長	<p>児童クラブの支援員の方々には頑張ってください、私たちも感謝しているところです。無理を言ってお願ひしているところもあるので本当にありがたいと思っています。二つ目の浜辺の歌音楽館についてですが、昨日、中央印刷の方からオルゴールの見本が届いており、回覧して決裁を受けているところです。</p>
藤本委員	<p>それはデコレーションできたりするのではなくて、完全な形のものですか。</p>

長岐生涯学習課長	そうです。キットのようになっていて作るとか、手で回すとかではなくて、今回のオルゴールは出来上がっていてゼンマイ仕掛けです。
津谷市長	私も初めて聞きました。
生涯学習課長	昨日届いたばかりです。
藤本委員	楽しみにしています。
津谷市長	ほかにございますか。
佐藤正俊委員	生涯学習事業ですが、課長から生きがいという言葉がありましたが、新型コロナウイルスの影響で、今後事業が計画どおり進めていけるのかということ。それから、コムコムの利用について、たくさんの方が利用していると思いますが、安心して利用する取組や工夫があったら話していただきたいと思います。もう一点、文化会館や浜辺の歌音楽館の休館について、私たちはなかなか芸術文化に触れる機会は少なく、この地域にはたくさんはありませんので、参加したいと思っていましたが、今までの計画でオーケストラなど企画が進めていけるのかどうか、分かっていたら教えてください。
長岐生涯学習課長	一つめと三つめは若干リンクすると思うのですが、市民の生きがいづくりの講座や高齢者大学についてですが、講座はある程度人数を絞って開講できると感じています。高齢者大学の鷹巣は、13のクラブに分かれていますので開催を考えています。森吉・合川・阿仁は、人数はそれほど多くないので開催できますが、移動研修は遠方へ行く際のバスの密の心配がありますので、内容や人数を考慮する必要があると考えています。文化会館の自主事業は、3月は軒並中止となっています。今年度、8事業を予定していましたが、10月頃に計画していた地元出身の佐藤陽さんの能は、大きい公演が後ろの方に伸びた関係で、佐藤さんの方から断りがきていますし、他の事業も9月までは厳しい状況です。実施できそうなのは、映画と渡辺喜恵子さんの企画展、3月に予定していた吉田正記念オーケストラです。浜辺の歌音楽館のコンサートなどは、少年少女合唱団の練習もこれから開始されますので何とも言えませんが、できるだけ開催したいと思っています。コムコムの安心・安全の確保については、ハローキティを使って座席の間を空けたり、席数を減らしています。また、市の集会等の指針に基づき、部屋の使用人数を1人4㎡で割り返して、100人以下でもそれを確保しています。消毒は、清掃の委託業者に朝・昼・夕の3回消毒をしてもらっています。
津谷市長	ねまーる広場の遊具などの消毒はどうですか。

長岐生涯学習課長	保育士がいる間は消毒もまめにできるということで、午後8時までの利用時間を、午後5時までとしています。
津谷市長	ほかにございますか。
蒔苗委員	文化財の調査・研究は外部委託になりますか。それとも教育委員会に学芸員がいるのでしょうか。
長岐生涯学習課長	価値の調査・研究ですが、学芸員が調査して審査会にかけるという手順になっています。
蒔苗委員	何人いるのですか。
長岐生涯学習課長	2人です。筑波大学の教授などが古文書の整理をしてくださっている部分もありますが、なかなか二つ、三つとはいかなくて、根拠などの積み上げが必要となるので時間は掛かっているのが現実です。
蒔苗委員	いろいろな分野に渡って、いろいろな物があると思いますけれども、大学などに委託するにしても、そういう物を中心に研究している所が見つければ、価値ある物をより広める意味で有効になるのだと思います。
長岐生涯学習課長	委員がおっしゃるとおりで、(筑波大の先生は)古文書に興味を持たれて、自ら解読したいということで来ております。今までは研究費が出ていた中で来ていましたが、今年からなくなって頻度が少なくなっても来られるということでした。
津谷市長	よろしいでしょうか。生涯学習課に対しての様々な御意見などがありましたので、十分に取り入れながら進めていきたいと思っております。 それでは、スポーツ振興課からお願いします。
藤野スポーツ振興課長	スポーツ振興課の主な教育施策は四つの大項目といたしました。 1. 体育施設修繕などスポーツ環境の充実について 今月で公認切れとなります鷹巣陸上競技場の3種公認に向けた更新については、8月末更新予定で発注しています。2月に故障により水漏れしております市民プール空調設備の更新については、6月補正で対応し長寿命化工事を予定しています。耐用年数を勘案した鷹巣体育館は、建て替え等も含む今後の方向性の検討をしていきます。昨年度、照明塔とスコアボードを解体・撤去した森吉野球場の多目的運動場化については、具体案の検討を予定しています。

<p>藤野スポーツ振興課長</p>	<p>2. 生涯スポーツの推進と各種大会等スポーツを通じた地域活性化</p> <p>恒例となっております立正大学剣道部と、昨年の実績により今年度以降も実施予定の三井住友海上火災女子陸上部など、スポーツ文化活動合宿団体への経費一部補助と合わせ、選手と市民の交流事業を拡大・推進いたします。年2回実施しているなわとび大会は、更に年齢層を拡大し、地域間交流と活性化を図ります。また、30回記念となる100キロチャレンジマラソンにつきましては、来月10日の臨時会議を経て開催が決定されれば、参加者拡大のためのPR活動や補助金交付と併せ、積極的な人的支援を行ってまいります。</p> <p>3. スポーツ指導者の育成と競技力の向上について</p> <p>体育協会やスポーツ少年団への、国・県など指導者講習会や研修会の情報提供、大会補助金の利用PR。また、押尾川親方のわんぱく相撲教室や、元オリンピックの地元選手・湊祐介氏によるクロスカントリー教室を実施し、若年層の競技力向上に取り組んでいきます。</p> <p>4. 北秋田市スポーツ推進計画の次期計画準備について</p> <p>現行の計画実施分の事業の検証と分析を行い、次期計画策定に向けた作業を進めて参ります。</p> <p>以上です。</p>
<p>津谷市長</p>	<p>ただいま説明のありましたスポーツ振興課について、皆様から御意見や御質問をお受けしたいと思えます。</p>
<p>藤本委員</p>	<p>米内沢小学校のことしか分かりませんが、冬に子どもたちはアルペンかクロスカントリーかを選んでスキーの授業を行います。今、アルペンは学年に一人いるかないかで、ほとんどの子どもたちはクロスカントリーを選んで行っています。その中で、平日の授業に保護者にも指導できる方ということで声掛けがありますが、なかなか難しく先生方にお任せしているところがあります。実際のところ、先生方も能代地区からいらっしゃる方も多く、先生自身が経験されていなかったり、これからスピードなどを身に付けると上達していくのではと思う子どもたちに、伸ばしてくださる指導がないのではないかと感じています。難しいことではあると思いますが、北秋田市の中にも指導者の方がいらっしゃると思いますので、体育の授業に入ってくださいると、よりクロカンを楽しんで伸びる子どもたちもいるのではないかと思うところです。</p>
<p>津谷市長</p>	<p>(スキーの)関係者もいらっしゃいますが。</p>
<p>佐藤英樹委員</p>	<p>実際そういう要望があると、地元には北秋田市スキー連盟もありますし、ボランティアで行っている若手のレーシングチームもありますので、声を掛けてもらえば、派遣するようなシステムがあると思えます。鹿角市では、市から地</p>

佐藤英樹委員	元のスキー連盟に小学生の指導のために補助金が出ています。講師を派遣すると足代としていくらか支給するシステムが出来上がっています。その辺も学校関係者、保護者で話し合って、教育委員会もしくは組織に連絡すれば動けると思います。
藤野スポーツ振興課長	授業中ということで、学校教育課との話合いも必要になりますが、指導される若年層の選手はたくさんおります。日中の授業中というのは調整が必要かもしれません。夕方や土日で、空いている時であれば可能かと思えます。授業ではどうなりますか。
小林学校教育課長	授業なので先生方がやることになります。スキーは、その人の資質によるところが否めないかと思えます。体育の授業でスキー場に行ったりする時には、保護者等の力もお借りしたり、大館少年自然の家から派遣していただいたりという形で行っているのですが、長い時間滑るような時には各団体をお願いすることも可能かと思えますが、普段の授業だと難しいのではないかと思えます。
佐藤教育長	米内沢小学校もいよいよ学校運営協議会がスタートしますので、そういう組織の中で話題に出して、地域の中から探すなど、そういうところからスタートして、スキー連盟などと協働していけばよいのかと思えます。
津谷市長	<p>ほかにございませんか。</p> <p>冬のスポーツには環境も恵まれている地域ですので、ぜひ子どものみならず先生方も親しめるような環境作りに進んでもらえればよいと思います。</p> <p>これまで各課に貴重な御意見をいただきました。参考にしながら事業を進めて行きたいと思えますので、よろしくお願ひします。</p> <p>次に、案件（２）意見交換に移らせていただきます。テーマを限定せずに北秋田市の教育について、日頃委員の皆様が考えていることがございましたら、話題提供を含めてお話しただければありがたいと思えますので、よろしくお願ひします。何かござひますか。</p>
藤本委員	この度は、マスクを４枚もいただきありがとうございます。本当に子どもサイズのマスクがなかなか手に入らない中、４枚も頂戴しまして、また素材も、不織布だと熱がこもったり、布マスクだと型崩れしやすいのですが、軽くてこれからの季節も着用できるもので、さっそく子どもも着けて登校しています。ありがとうございます。
津谷市長	新型コロナウイルスの騒ぎがあった時に、経済活動が低下してしまうし、縫製を事業としてやられている方々もいらっしゃることで、商工会の方からも御要望がありました。できればそういう方々にも仕事をしていただきながら、そ

津谷市長	<p>してマスクも手に入らないことから、お互いに助け合っていけばできるのではないかと、ということでやらせていただきました。本当はもう少し早くできればよかったのですが、見て分かりますとおり丁寧に作られておりますのでよかったと思っています。</p>
藤本委員	<p>今回の臨時休校を経験して私自身が感じたことを述べたいと思います。子どもの学校が休みになって、学習環境とか学習意欲の部分について、自分自身学校任せだなと感じました。長い休みになって、勉強を進めたり深めたりできる子どもと、そうでない子どもの差ができたのではないかと心配なところもありました。実際私も小学校4年生の息子に、せっかく家にいる時間が長くなったので、例えば算数の次のステップと一緒にやってみようかと思ってやるのですが、短所ばかりが目について、日頃先生方が長所を見つけて、ほめて子どもに自信をつけて、やる気を付けてくださっているという先生のすごさを改めて感じたところでした。また今回、学校の先生方が感染予防対策ということで、様々な策を講じてくださっていることで、息子も食事や睡眠の大切さを自分から言うようになりました。これまで、なかなか起きられなかった朝も、30分以上早く起きてくるようになりまして、それも予防対策の中で先生方が気付かせてくださったことだと思っています。</p>
津谷市長	<p>ほかにございますか。</p>
佐藤正俊委員	<p>学校再編について考えていたことがありましたが、阿仁地域の小・中学校の統合について、大変よい方向に進んだと思っています。それは、総務課、学校教育課が連携して、計画を持って、丁寧に市民や保護者に教えてくれたからだろうと思っています。もう一つは考える時間、3年間の空白の時間がとてもよかった気がします。考える時間があつたからこそ、意見交換の場で話し合えたのかと思います。今後、森吉地区が統合について意見を聴く会を持つことになると思いますが、統合するということではなくて、まずは聴いて、その後統合について考えていくというのがいいと思います。今までのことを踏まえて、統合に向けて考えてほしいものだと思います。</p>
津谷市長	<p>ありがとうございました。教育長。</p>
佐藤教育長	<p>この先の子どもたちの数も含めて、少なくなったからなくせばいいではなくて、それも地域の活性化に寄与できるような方向を合わせて考えていきたいと思っています。森吉地区だけではなくて、合川地区も子どもたちが減っていくことが見えていますので、旧阿仁部といわれる地域の今後の在り方については、皆さんで知恵を出し合っていければと思っています。できれば移住、あるいは出身の人たちが戻ってくるなど、そういうことで人口が増えて活気が出て</p>

佐藤教育長	<p>くれば尚よいのですが、「あの学校に自分の子どもを入れたい」という外の人たちが見られるような学校作りも必要があると考えています。今年度また、阿仁地区とも森吉地区とも話合いが進んでいきますので、佐藤委員がおっしゃるようなことを踏まえて、皆さんの気持ちを汲んでいきたいと思っています。よろしくお願いします。</p>
津谷市長	<p>ほかにございませんか。</p>
佐藤英樹委員	<p>新聞で読みましたけれども、今回の新型コロナウイルスの対策で、市長をはじめ教育長さんたちが、身を削って市民のために英断してくれたことに感謝を申し上げます。</p> <p>今お話があったように子どもたちも少数ですし、地区も疲弊しているところもありますので、ぜひ市長を中心にして市を盛り上げてほしいと思っております。</p>
津谷市長	<p>ありがとうございました。</p> <p>ほかにございますか。</p> <p>それでは、意見交換はここまでとさせていただきます。貴重な御意見をありがとうございました。本日の案件は全て終了いたしましたので、進行を事務局にお返しします。ありがとうございました。</p>
小笠原教育次長	<p>進行ありがとうございました。次第の5. その他でございます。皆様のお手元に資料として、教育委員会関係施設の新型コロナウイルス感染症対策をまとめたものがありますので、後で御覧いただければと思います。マスク等の励行、3密の解消など予防対策を徹底しながら通常開設、通常実施しておりますので今後ともよろしくお願いします。</p> <p>そのほか、皆様から何かありますか。</p>
津谷市長	<p>私から一言。先程の中でいろいろなことを伺いました。学校が休業になって特に今回思ったことは、普段学校というところは子どもが喜んで集う場所で、先生方も子どもたちに元気で来いと声を掛けているはずが、来ないでほしいと言わざるを得ないことは非常に悲しいことです。子どもの数が少なくなっている中でもみんな元気に学校に行き、友だちがいて、地域のことを考えるといった場に「来るな」という、今までとは真逆の経験をしてしまいました。そういう意味では御父兄や先生方、一番辛かったのは子どもたちだったと思っています。ただ、先程冒頭で申し上げたように、新型コロナウイルスは大変な感染症でしょうから、非常事態宣言が解除になっても終わったわけではありませぬので、尚更気を付けていかなければならないと思っています。我々もしっかり対策をして参りますが、どうかお一人お一人が気を付けていただきながら、大</p>

津谷市長	事な子どもさんたち、高齢者を含めた市民の方々に、特段の注意を払うように御指導いただければありがたいと思っています。ありがとうございました。
小笠原教育次長	これもちまして、令和2年度第1回北秋田市総合教育会議を閉会いたします。本日は大変ありがとうございました。

(午後3時01分 閉会)